

百刈田遺跡（第4次）発掘調査説明会資料



調査の概要

百刈田遺跡は国道 113 号赤湯バイパス改築にかかる県教委の分布調査により、平成 8 年度に遺跡可能性地として報告され、平成 14 年度の試掘調査で正式に登録された遺跡です。

遺跡の位置する島貫地区は、吉野川と上無川に挟まれた宮内扇状地の先端部にあたり、東側を流れる吉野川によって形成された自然堤防上に立地しています。本遺跡東方約 1.2 km には国指定史跡の稻荷森古墳があるほか、赤湯駅周辺の郡山地区には古墳時代から平安時代の遺跡が数多く確認されています。

百刈田遺跡では、これまで平成 15 年度から 3 ヶ年にわたる発掘調査を実施してきました。第 1 次調査（平成 15 年度）では縄文時代中期の住居跡や土坑をはじめ、古墳～平安時代の遺構・遺物が発見されました。平成 16 年度の第 2 次調査では、今次調査の対象となった河川跡（SG516）の掘り下げを行ったほか、縄文時代住居検出範囲を拡張して継続調査を実施しました。また、昨年度の第 3 次調査では弥生時代から中世までの遺構や遺物が見つかりました。特に、県内では初例となる弥生時代中期の土器群が一括出土しました。

第 4 次となる今回の調査では、2 次調査で検出された河川跡の北側約 600 m²を対象としました。12 月からは降雪期のため仮設の覆屋を設置し、屋内での作業を行いました。



河川跡検出状況

2007 年 1 月 24 日（水）
財団法人山形県埋蔵文化財センター

調査要項

遺 跡 名	百刈田（ひゃくがりだ）遺跡
遺 跡 番 号	平成 14 年度登録
所 在 地	南陽市大字島貫字百刈田
調査委託者	国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所
調 査 原 因	一般国道 113 号赤湯バイパス改築事業
調 査 面 積	6 0 0 m ²
現 地 調 査	平成 18 年 11 月 20 日～平成 19 年 1 月 26 日
遺 跡 種 別	集落跡
時 代	縄文時代～中世
遺 構	河川跡（自然流路）
遺 物	縄文土器・土師器・須恵器・木製品
調査担当者	調査第一課長 野尻 侃 調査研究主幹 長橋 至 主任調査研究員 須賀井新人（調査主任） 調 査 員 深澤 篤
調 査 協 力	置賜教育事務所、南陽市教育委員会

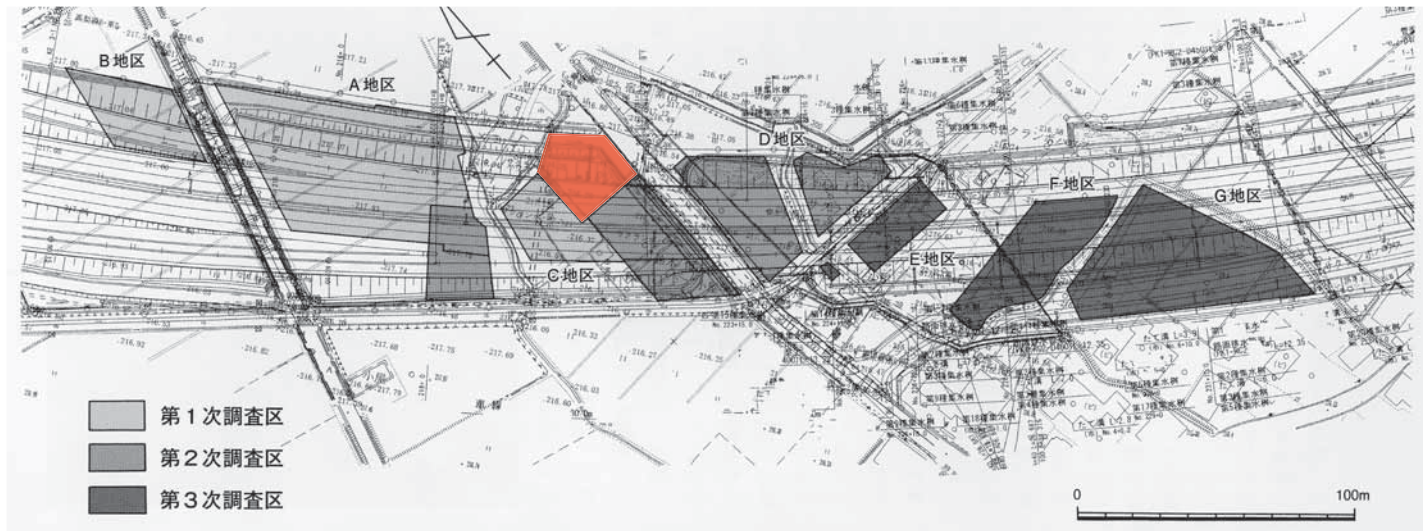


遺跡位置図（S = 1 : 50000）

河川跡と出土遺物

今回の調査範囲は全域が吉野川の旧支流と推測される河川跡に属します。現地表下約 70 cm で確認したところ、南北方向で「く」の字状に蛇行する最終河道部が検出できました。蛇行部に試掘溝を設定し掘り下げ、流木や古墳～奈良時代の遺物が出土した地点（約 1.8 m 下）までを上層面として調査しました。この面の記録を行った後に遺物を取り上げ、さらに下層へと掘り進めていきました。約 3 m 掘り下げたあたりから、これまで粘質土だった堆積層が砂礫に変わり、流木に混じって土器片が点在する状況から、下層面として記録することとしました。この砂礫層がおそらく川底であったと思われます。

遺物は主に上層面から多く出土し、最終河道であった調査区西半に集中しています。くの字に曲がる蛇行部からは、奈良時代のものと考えられる須恵器（すえき）の壺が出土しました。他は古墳時代の土師器（はじき）が多く、器の形が分かるもの



調査区概要図

に丸底の鉢や甕があります。これらは今から約 1,700 年前の古墳時代前期の土器と推測されます。木製品では欠損により完全な形状のものはありませんが、棒状に加工したものが多く出土したほか、1/2 の残存ながら舟状の形態をした製品も見つかりました。下層の遺物は縄文土器も含まれていましたが、砂礫層から出土したことも原因してか、磨り減った小片がほとんどでした。流れ込みによるものと思われます。

まとめ

これまでの調査結果から、百刈田遺跡は縄文時代中期から中世にかけての集落跡であることが分かりました。1 次～ 4 次調査の成果をまとめると以下ようになります。

発見された主な遺構は縄文時代の住居跡群、弥生時代の墓域、古墳～奈良・平安時代の溝や土坑などがあります。これらは遺跡範囲のほぼ中央を流れる河川跡を境にして、縄文時代と古墳時代には河川の西側、弥生時代と奈良・平安時代には河川の東側にムラが営まれたようです。吉野川の旧支流と考えられる河川跡は、縄文時代から流れていたと思われ、川幅を徐々に狭めながら平安時代頃には洪水によって運ばれてきた多量の砂により、完全に埋まってしまったと想定されます。

遺物は 4 年間に及ぶ調査で累計 150 箱を超える量が出土しました。特に、一括出土した弥生時代中期の土器群は県内では初例となることから、当時の生活の様子がうかがわれる貴重な資料を得ることができました。



木製品の平面実測



上層面遺物出土状況



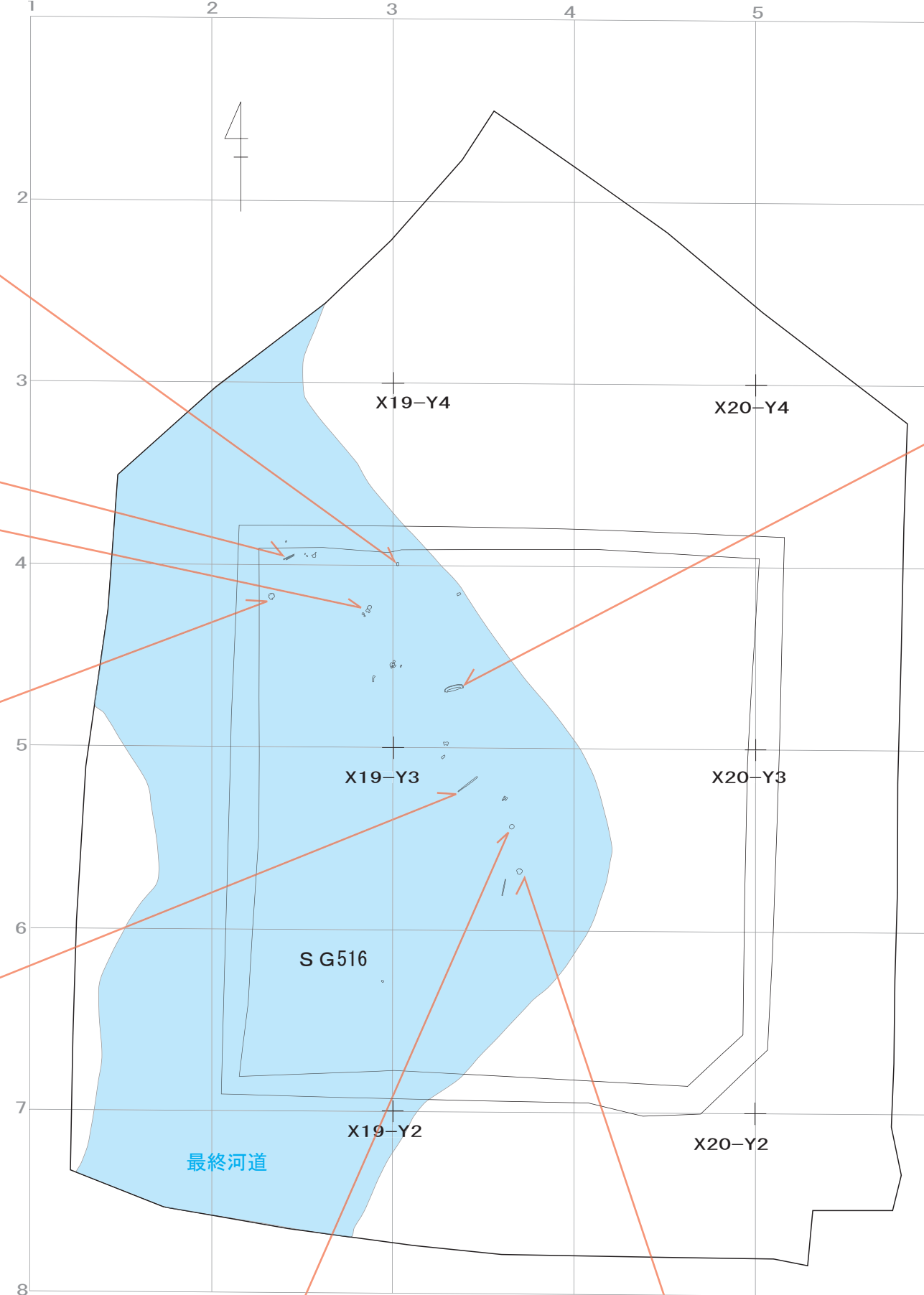
上層面遺物取り上げ後の舟状木製品出土状況



遺構測量

百刈田遺跡第4次調査区

(S=1:150)



舟状木製品



下層面調査風景



河川跡土層断面



棒状木製品



古墳時代の土師器・鉢



古墳時代の土師器・鉢



古墳時代の黒色土師器・坏



ヘラ状木製品



上層面完掘状況



奈良時代の須恵器壺



古墳時代の土師器・坏